

# ★地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は… 役場企画財政課広報統計係  
☎ (86) 1134 [直通]



↑漁協職員の手ほどきを受けながらブリをさばく児童

## ブリ加工実習を開催 自分でさばいたブリは格別

2月5日、蔵之元小学校（星野勤校長）で、ブリの加工実習がありました。

地域で生産されている食材の生産過程や、調理を通じて地域の食文化を理解することを目的に、東町漁業協同組合養殖業者会が毎年行っています。

この日は、同会員らを講師に、ブリを3枚におろす方法を学び、班ごとにブリの頭を切り落とし、身や骨と分けて、3枚におろしました。

児童らは、包丁の使い方を学びながら、刺し身やブリカツ、ブリ飯、ブリ汁と、ブリ三昧の食事を堪能しました。

5年生の町田しずくさんは「ブリの頭はかたくて大変だった。タタキや刺し身の切り方を学んだ。この経験を通して、新しいことを身につけたい」と楽しんだ様子でした。

## 講師招き研修会

### 地域で支え合う町づくりを

1月14日、町開発総合センターで自治公民館長や民生委員、地域住民らを対象とした「支え合い町づくり」研修会が開催されました。

会は、住民福祉総合研究所の木原孝久氏を講師に「地域で支え合う町づくり」について講義がありました。同氏は「困っている人がいたら放っておけないという世話焼きさんが大切」と話しました。

誰もが安心して暮らせる町を目指し、参加者が理解を深めました。



↑支え合うことの大切さを話す木原氏



↑ユナイテッドFCの選手の指導を受ける参加者

## サッカーフェス 高い技術に大興奮

サッカーJリーグ昇格を目指し活動を続ける鹿兒島ユナイテッドFCの選手らを招いたサッカーフェスティバルが、2月7日、町総合体育館でありました。

同フェスには、町内の小中学生や保護者など約130人が参加。昨年度に続き2回目となった今回も、高い技術を持つ選手らによる指導に子どもたちは熱心に取り組みました。指導後は保護者なども参加した熱い試合が展開されました。